

◎Start!をご活用いただいている先生方の声

感想・活用例

保護者面談時に一人ひとりに配布し活用。就職を考えている生徒の保護者に対して特に県南地域の事業所を中心に紹介。（総合系）

「働くこと」をテーマにした総合探究の時間に、山形の企業を調べるための情報として活用させていただきました。（定時・通信制）

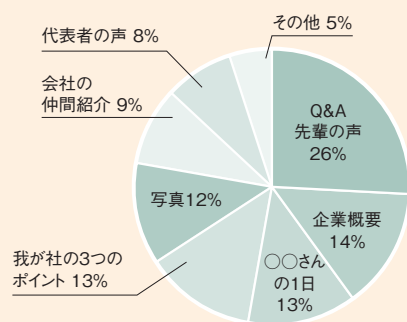
会社の説明や特徴について、生徒に伝えられた。“先輩社員の声”を読み、働くことのイメージを抱かせられる。（総合系）

LHRの時間を使って、学科に関連する企業や本校からの近年実績がある企業の紹介に使った。（工業・農業系）

全ページカラーで文字と写真のバランスも良く読みやすい。
どのような仕事に就きたいか具体的にイメージできて参考になる。（普通科系）

進学校だと地元企業を知る機会が少ないので、Start!を通じて知ることが可能となり大変良いと思う。大学進学後、地元に戻りたいと考える生徒を増やしていきたいと思う。（普通科系）

企業紹介の中で参考になった内容



自校出身の卒業生が紹介されている企業は、特に注目して見たという声が多くありました。

企業について知りたいこと

- 現在の仕事の厳しさ(難しさ)を率直に知りたい。
- 地元への貢献度。
- ワーク・ライフ・バランスにおける「ライフ」に関する情報。
- どのような人材を求めているのか。
- 入社後、どんなことで悩んだか。
- 若手社員の働きがいや語ってもらい、「働く」とはどういうことか、生徒たちに伝えてもらいたい。

Start!

スタート! ウェブ版 Web版

高校生の就職活動をWebでも応援! 本誌で掲載する企業情報や就活コラムだけでなく、便利な検索機能やWeb版限定で求人募集要項の掲載もできます。PCはもちろん、スマホでの閲覧も可能なので、より高校生に身近なアプローチが可能になります。

WEB版はこちら

高校3年生のスマホ所持率
約97%以上

令和4年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果速報(令和5年2月内閣府)

POINT 1 スマホ対応でより使いやすく

POINT 2 エリア別・業種別で選べる検索機能

POINT 3 募集要項の掲載が可能

トップページ

企業ページ

企業情報

本誌で紹介している企業紹介記事がWebでも閲覧できます。

はじめての就活コラム

就職活動に役立つコラムを掲載します。

会社を知ろう!

掲載企業情報をエリア別/業種別で検索できます。

Web版のみ「募集要項」を掲載可能

7月1日の求人票公開以降であれば、貴社の募集要項・求人票番号を掲載できます。求人票番号を、担当教員に伝えるだけで手間が省けるだけでなく、必要な情報を時期に合わせて掲載し、より使いやすく活用されます。

掲載料金

本誌 見開き2P

…350,000円(税込385,000円)

※プロフotograファァによる撮影、ライターによる取材費を含みます

Web版 掲載(1年間)

…120,000円(税込132,000円)

※Web掲載のみのお申込み不可

発行概要

- 仕様/A4タテ無線綴じ
- 発行部数/10,000部(2025年版実績)
- 配布エリア/山形県内
- 配布形態/各高校の進路指導または担任の先生から生徒個人またはクラス単位で配布
- 配布対象/県内の高校生
- 発行年月/2026年5月(予定)

お問い合わせ先

中広メディアソリューションズ
〒990-0033 山形市諏訪町1丁目1-1
センチュリープレイス山形2F
TEL 023-616-7390 FAX 023-616-7391

媒体資料

高校生のための就職サポートBOOK

Start!

【スタート!】

Vol.8
[2026]



企業ブランド価値を高められる

山形県の高校生に直接届けられる

地域の活性化につながる

県内新卒者へ企業の魅力を様々な角度から楽しく紹介する

新しいカタチの企業紹介本

CHUCO MEDIA SOLUTIONS

●高校生のための企業の魅力紹介本

Start!

地元企業を知ってもらう。

「Start!」は、高校生の就職活動を応援するためのフリーマガジンです。

山形県内で活躍する企業を、多くの高校生に知ってもらうこと。そして、地元の積極的で有望な若い人材を確保し、地域の活性化に繋げていくこと。知らないまま県外に出てしまう…その前に高校生・先生・保護者の皆さんに地元企業の魅力を知ってもらうための本です。

ますます需要が高まる「高校新卒求人・求職」の現状と課題

■高卒就職の現状

■山形県の新規学校卒業者の求人倍率

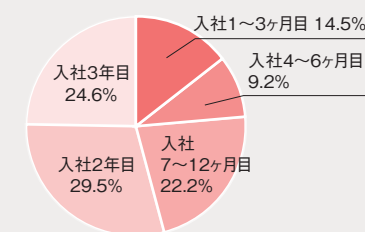
企業求人数6,490人に対して 県内就職希望者数1,658人 県内求人倍率 **3.91倍**

■新規高等学校卒業者求職者数の推移



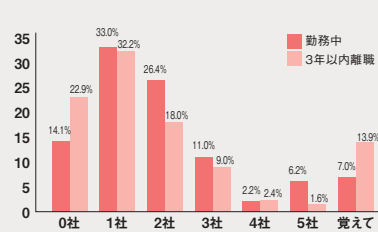
引用:山形県労働局:令和4年3月新規学校卒業者の職業紹介状況(4月末最終)について

■初職を離職した時期



引用:ジンジブ:高卒早期離職に関するアンケート(21年12月)

■就活時に見学した社数



引用:ジンジブ:高卒早期離職に関するアンケート(21年12月)

■高卒就職の課題

直接企業と生徒がやりとりしない仕組み
応募は学校からの紹介が必須

就職先の参考資料は、全企業統一の文字だけの画一的な求人票
ハローワーク登録が条件

情報公開、接触時期、回数が大学生以上に厳しく制限
1回目の応募は「1人1社」に限定され、半数以上がその1社で内定獲得

「詳しい仕事内容」「職場の雰囲気」「自社の魅力や想い」「求める人材イメージ」などを伝えることが難しい。

勤務地や休日、給与で職場を決めてしまうことで、ミスマッチや早期離職につながる

高校生採用の3つのポイント

高校生採用では、学校活動への配慮は必須。限られた範囲で最大限効果を挙げられるようにすることが必要です。

先生(学校)

- 職場見学は事前に相談して行き先を絞って行かせたい。
- 推薦先は本人の意思と学内選考で決める。
- インターンシップは保険やマナー指導の問題で自由に行かせにくい。
- すべての先生が企業や仕事を理解できていない。

これまでの慣習が基本。
忙しいのですべての企業を把握は難しい。

1 ルールに合わせた対応、先生の理解度UP

保護者

- 名前を聞いたことがない会社には行かせたくない。
- 知り合いが働いているところが安心。
- 「あなたはこれが向いている」「ここにしない」という過干渉 or 放置傾向。
- 相談相手は家族が80%※

※ジョブドラフトFes来場者アンケート(2021.7.12～7.30)

知っている世界は意外と狭い。

2 保護者へのアプローチ

生徒

- 求人票は文字だけで知りたい情報が載っていない。
- 情報があふれていて記憶に残りにくい。
- 学校からの情報提供がメイン。
- でも今は目に入ったものから興味を持つことも。

知らないことだらけ。
意識が高まるタイミングや内容は多様化

3 発見&興味が持てる内容、知りたい情報を提供

高校生採用にも戦略的アプローチが必要

選ばれるための企業メッセージの発信が不可欠

●高校生の視点に合わせた誌面構成

企業の魅力を高校生にもわかりやすく伝えます。

本誌の中心となるのは、地元企業の紹介ページです。求人票だけでは伝えきれない職場の雰囲気や、どんな人が働いているかなどを生徒に対してアピールします。募集要項は記載しないため、従来の求人媒体とは異なります。また、企業紹介ページの他にも、就職活動に役立つコラムなどを盛り込んでいます。

●企業ページフォーマット例



4つのフォーマットの中から、伝えたい内容に合わせて2つをセレクト

社員紹介



代表者インタビュー



我が社の3つのポイント



フォトギャラリー



Start!のPoint

①企業ブランド価値を高められる!

働くスタッフの声を集めた取材記事などで企業の魅力を伝えます。情報解禁前に社名を覚えてもらい、業務内容を知ってもらうことができます。

②県内の高校生に直接届けられる!

進路指導用教材として、各高校の先生から直接生徒に届けます。高校生の職業選択の視野を広げるきっかけになり、冊子スタイルで、家族と一緒に考える機会も提供します。

③Uターン就職のきっかけづくりになります!

高校生の段階で地元企業を知ること、県外へ進学した若者が将来の就職活動のときに「山形にもいい企業はたくさんある」と地元へUターンしての就職を考えるきっかけづくりをします。